

磐越自動車道 新潟中央インターチェンジ周辺での社会実験結果について

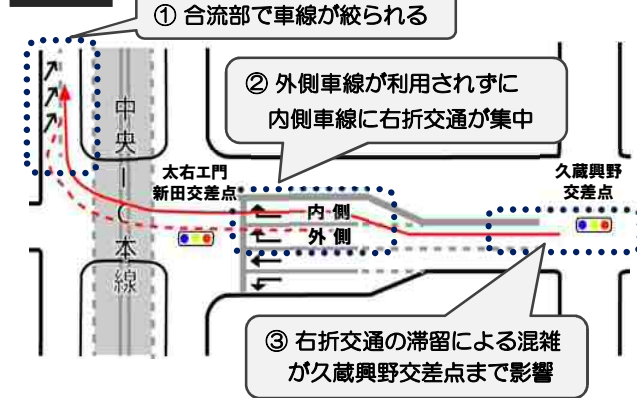
- 太右工門新田交差点では、磐越自動車道新潟中央インターチェンジ本線との合流部で車線が絞られるため、(一)曾野木一日市線の右折2車線のうち、**内側車線に右折交通が集中**し、右折車線を越えて滞留した交通による混雑が、**隣接する久蔵興野交差点まで影響**しています。
- 交通の流れを円滑にするための**社会実験を平成27年5月から実施**し、平成27年8月1日より本格運用を開始しました。
【対策①：折込車線の延伸（合流部の2車線確保）／対策②：新潟中央インターチェンジ本線を1車線に絞る → **内側車線から合流なしで本線への進入を可能とする**】
- 社会実験の前後で、**外側車線を利用する右折交通の利用率が平休日ともに向上**し、内側・外側車線の**利用バランスが改善**しました。

社会実験の概要

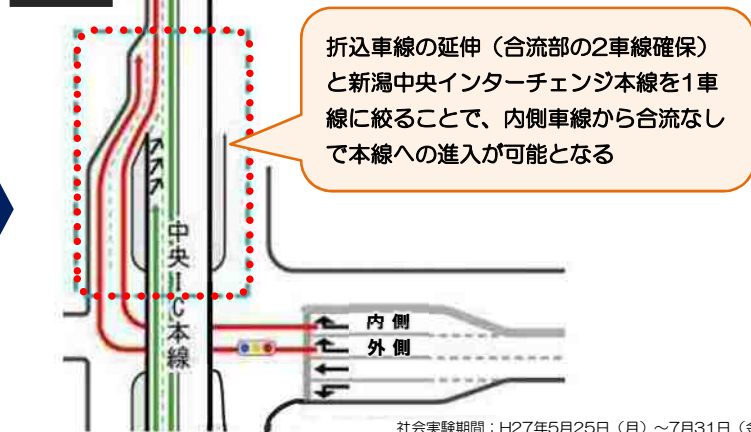
位置図



実験前



実験後

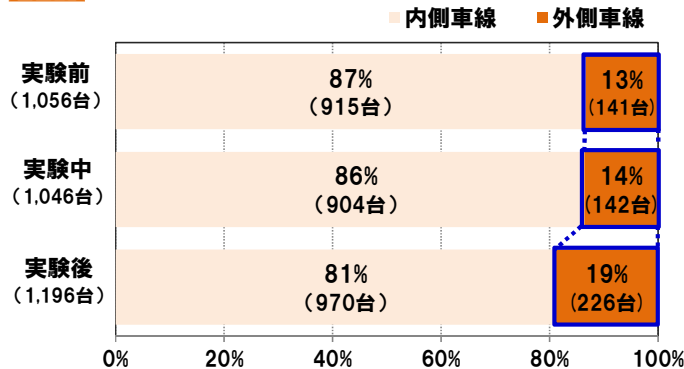


社会実験期間：H27年5月25日（月）～7月31日（金）

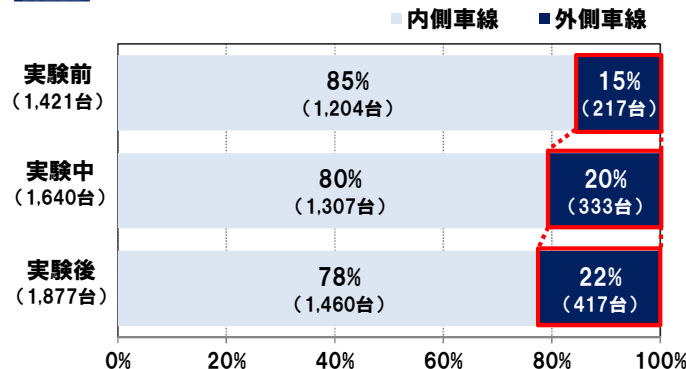
社会実験の結果（右折車線利用状況の変化）

実験前後で右折交通の外側車線利用率が平日で約6%（13%→19%）、休日で約7%（15%→22%）向上
⇒ **内側・外側車線における右折交通の利用バランスが改善し、交通の流れが円滑になりました。**

【平日】



【休日】



実験前調査日：H26年 11月 6日（木） 7:00～10:00 11月 9日（日） 15:00～18:00
 実験中調査日：平日 H27年 6月 16日（火） 7:00～10:00 休日 6月 14日（日） 15:00～18:00
 実験後調査日：H28年 10月 25日（火） 7:00～10:00 10月 23日（日） 15:00～18:00



* H26年11月9日（日）撮影



* H27年6月14日（日）撮影